

研究データエコシステム 東海コンソーシアム について

松原 茂樹

(名古屋大学情報連携推進本部情報戦略室)

研究データマネジメントのあり方

- 大学における **RDM**
(Research **D**ata **M**anagement)

研究データの
サイクル



現状

研究者/研究Grごとの方法
(ルール, 装置等) で実施

今後

大学が提供する方法で実施
(= **研究データガバナンス**)

構成員が**安全**に効率よく研究し
大学の**研究力**を高めるための仕組み



大学の研究データガバナンスに向けて

統合イノベーション戦略
推進会議

データポリシー（～2025）

データ公開とメタデータ

RDM人材・支援体制

研究データ基盤システム

科研費 令和6年度交付分

DMPの作成（2024～）

G7 科学技術大臣会合

グリーンOA（2025～）

第1回セミナーでの情報交換会



第1回 東海地区 学術データ基盤セミナーのご案内

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/information/event/2022-11-09-seminar.html>

開催日時

2022年12月2日（金） 13:30～16:00

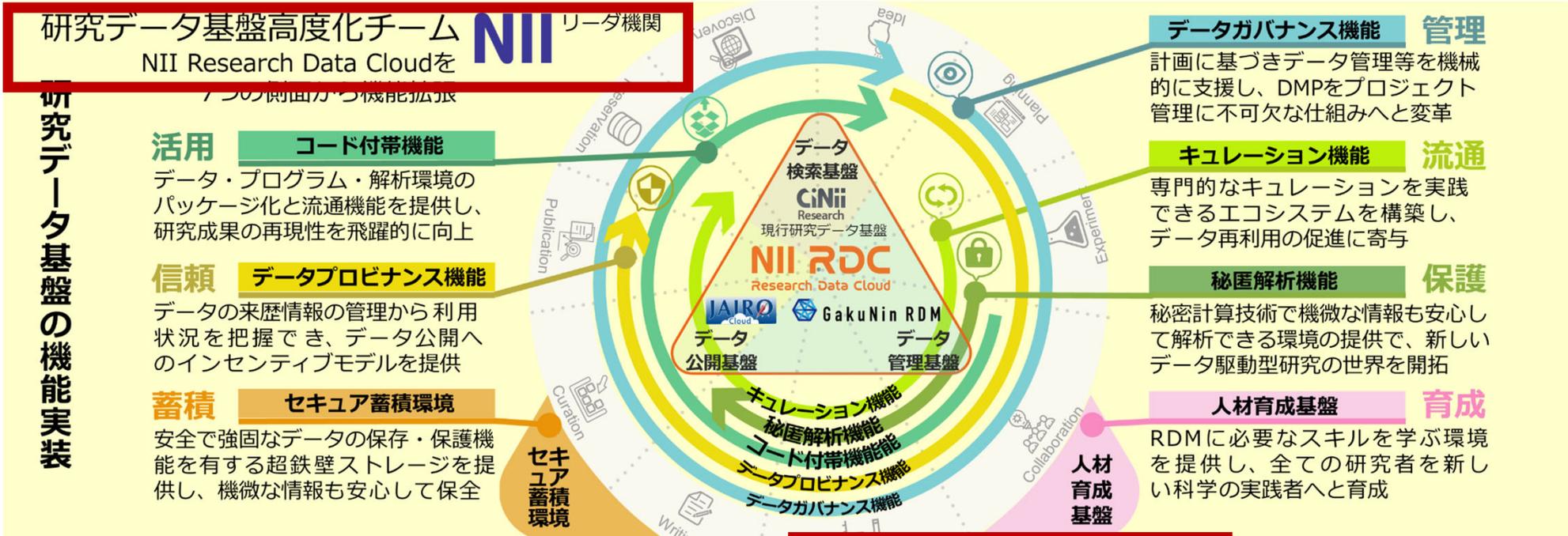
※ クロージングののち、対面での参加者限定で
東海地区でのRDM推進に関して情報交換会を実施

(情報交換会の参加者の意見【抜粋】)

- 研究データマネジメントの理念や必要性は理解するが
推進するための**新たな体制**の整備は難しい
- RDM推進の**資源（人材/システム/資金/ノウハウ）**が
不足しており、単一の大学での推進は難しい
- RDM推進資源を相互利用する**大学連携**の可能性

AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業

2022年度～2026年度 https://www.nii.ac.jp/creded/nii_ac_jp_creded.html



研究データ基盤の機能実装

基盤の活用に係る環境整備

プラットフォーム連携チーム

理化学研究所
RIKEN
リーダ機関

- 機関内サービス等とNII RDCの連携機能の整理と設計
- 計測機器等からの大量データを効果的に管理するための要件整理と機能開発
- 管理対象となるメタデータの設計と実証
- 関連する高度化機能との仕様調整と共同開発

融合・活用開拓チーム

東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO
リーダ機関

- 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に発展する取り組みを精査
- 異なる分野間でのデータ活用やデータ連携に関する具体的なユースケースを創出
- ユースケースをまとめたツールキットの作成とそれを用いた広報活動

ルール・ガイドライン整備チーム

名古屋大学
NAGOYA UNIVERSITY
リーダ機関

- 研究データの活用に適した機械可読データの統一的な記述ルール設計
- 研究データの公開に必要な要項や作業フローの整備
- 研究データを適切に取扱うための指針のまとめ
- 学内整備のための事例形成

人材育成チーム

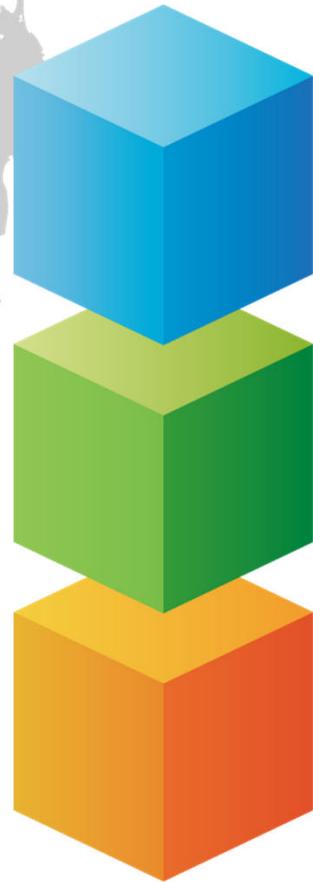
大阪大学
OSAKA UNIVERSITY
リーダ機関

- 人材育成を主とした研究データ管理体制の構築を推し進める学内組織構築の事例形成
- 研究データ管理人材に求められる標準スキルに関する検討
- 研究データ管理人材育成のためのカリキュラムの作成、オンライン学習コースの整備

中核機関群の代表からなる運営委員会が全体を統括し研究データエコシステムの全国展開に向けて共同実施機関を随時拡大

研究データエコシステムと大学連携

地域内の学術機関が連携し、
研究データエコシステムの地域拠点を形成



ノウハウの共有

推進体制, ポリシー策定,
リポジトリ運用, メタデータ

RDM資源の共用

データ人材, RDM教材,
データ基盤, 支援サービス

モデルの展開

機関連携のモデル形成
ノウハウの蓄積と体系化



研究データエコシステム東海コンソーシアム ～会員募集のご案内～

Research Data Eco-System Tokai Consortium

コンソーシアムの概要

【目的】 **東海地域の大学，高専，研究所等が連携し，研究データエコシステムの整備・普及・利用促進**

【活動内容】

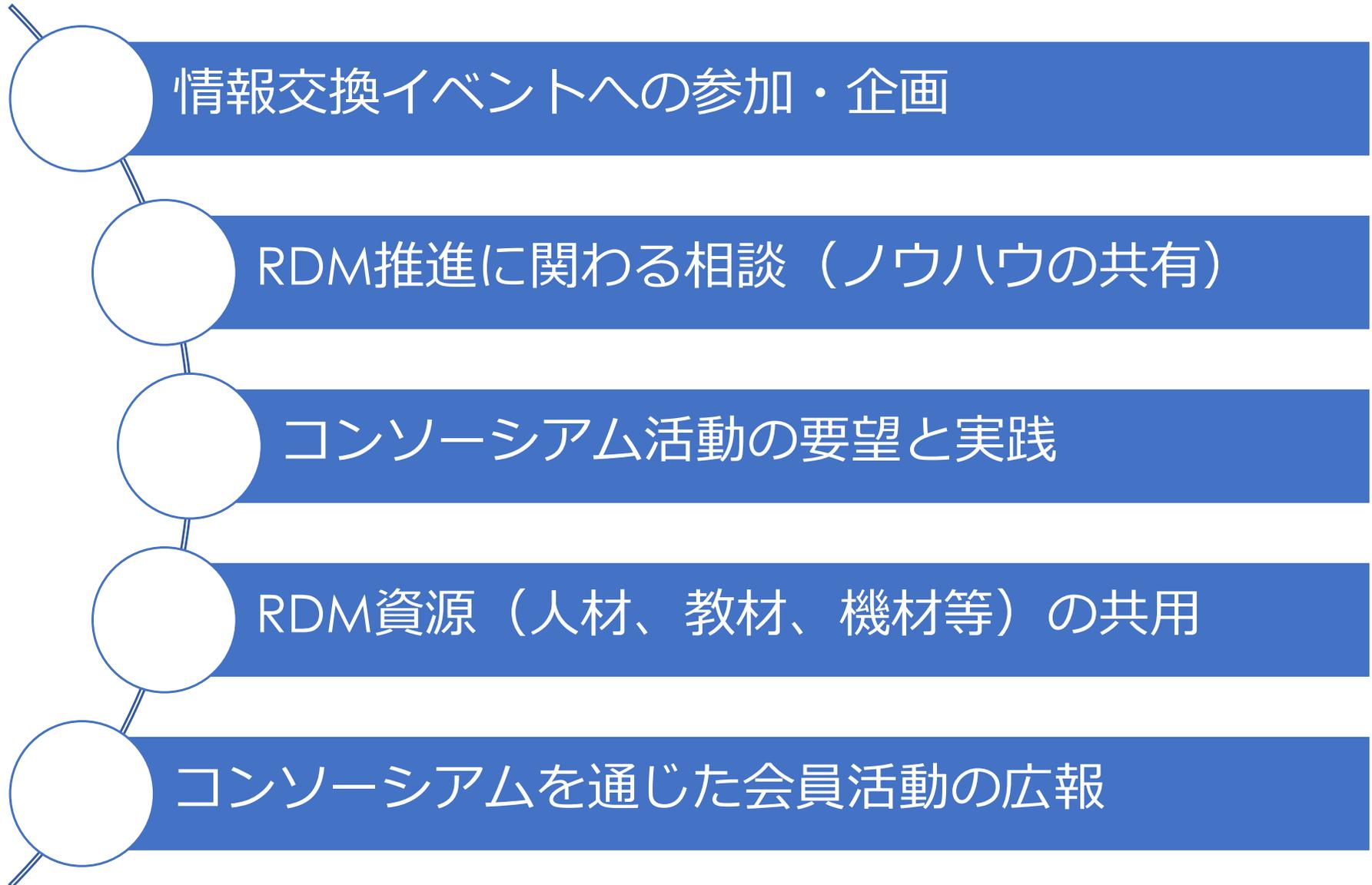
- 学内**体制整備**，**データポリシー**策定等の情報交換
- RDM推進のノウハウに関わる**セミナー開催**
- データ基盤、データ人材、RDM教材等の**資源共用**
- 地域内の事例や成果を**他地域や全国に展開**
- その他、研究データエコシステム構築に関する事業

【活動期限】

- 2023年度～2026年度

【事務局】 名古屋大学情報連携推進本部

コンソーシアム参加のメリット



研究データエコシステム東海コンソーシアム：入会

【会員】

- **正会員**：大学，高専，研究所等の学術機関
- **準会員**：上記学術機関に属する部署
※ 東海地域に限定しません

【会費】 不要

※ 「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」の名古屋大学への配分予算でコンソーシアムを運営します

【入会方法】

- **入会申込書**をメールでお送りください（随時受付）
 - 詳細は、名古屋大学情報連携推進本部のページ
(<https://www.icts.nagoya-u.ac.jp/>) から

RDMの推進に関心のある学術機関ならびに部署の皆様のご入会をお待ちしております